

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋津孝久
幹事 野村紀代彦
会報委員長 横山宜幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2777回例会プログラム

[当年度=11回目；当月=1週目]

2012年（平成24年）10月1日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(10/8) ……休会(法定休日)
(10/15) ……観劇家族例会
(親睦活動委員会)
10:15 ~ 御園座
- 13:00 15. 本日のプログラム
卓話 「東日本大震災に係る教育復興支援の報告」
講師 愛知教育大学
学 長 松田 正久 様
大学院1年 青木 裕樹 様
国際文化コース3年 大河原尚吾 様
" 長谷川直哉 様
(紹介者 橘 典子 会員)
16. 謝辞
17. 点鐘……〈会長〉
18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

ゲ ス ト

愛知教育大学 秘書 広報課秘書係長
三浦 秀樹 様

ビ ジ タ ー

小牧ロータリークラブ

会長
幹事
直前会長
職業奉仕委員長
新世代奉仕委員長
会員増強委員長
出席委員長 会場委員長

鈴木 文勝 様
中村 明 様
松尾 憲二郎 様
堀井 武 様
橋本 晃暢 様
伊東 聖史 様
大島 賀樹 様

出 席

会員総数 92名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 81名
欠席 8名 出席率 91.01%
前々回(9/10)の修正出席率 100%

会 長 報 告

1) 石原 鈞会員に、2011 ~ 2012年度ロータリー財団への大口寄付に対する表彰状が届いています。

会 長 あ い さ つ

名刺の話

嶋津 孝久



本日は名刺の話です。以前、標準サイズより一回り大きな名刺をいただいたことがありました。これは普通の名刺箱には入らないので、いつも一番上になり、覚えて貰い易いとの事でした。また刈谷クラブの皆様も、それぞれに思いのこもった名刺

をお使いのようです。

嶋津はごく薄い名刺を使用していた時期があります。これは、1日に大量の名刺交換をする場合があり、名刺入れになるべく沢山入れる必要があったからです。

最近もらったユニークな名刺では、裏側に××（社名）は、お客様のお役にたち喜んで頂ける仕事をいたします（ここまでは普通ですが、次に）

ルール1 お客様は常に正しい

ルール2 もしお客様が間違っていたらルール1を見よ！と書いたものがありました。

古稀のお祝い



鈴木 光彦 会員

お祝い

10月の会員の誕生日…坂茂、太田保、野村重彦、堀正剛、内藤耕造、大音祖瑛、深谷稔彦、加藤恒治、鈴木光彦、塚本幸夫、室殿豊、新海伸二、山下雅則、松井秀仁会員。

配偶者の誕生日…羽田孝子（育哉）、加藤多津枝（哲也）、下谷裕子（敏朗）、出口うつみ（達也）、白坂美子（修二）、岡香（邦彦）様。

結婚記念日…石原鈞、坂茂、太田保、大音祖瑛、堀正剛、盛田豊一、前田孝司、杉浦世志朗、太田宗一郎、加藤真治、酒部正博、兵藤文男、横山宜幸、加藤英樹、深谷嘉英、深谷稔彦、鬼頭一浩会員。

10月度入会記念日…市川裕士、大竹憲治、吉原孝彦会員。

大口寄付者の紹介



石原 鈞 会員

小牧 RC とのバナー交換



卓話

東日本大震災に係る教育復興支援の報告

愛知教育大学

学長	松田 正久 様
大学院1年	青木 裕樹 様
国際文化コース3年	大河原尚吾 様
〃	長谷川直哉 様



愛知教育大学では、東日本震災直後、宮城教育大学に支援物資を本学職員が届けて以来、宮城県を中心に教育に係る復興支援に取り組んでいます。学生ボランティアを募集し、現在113人が登録、4人に3人が女子学生で、女子学生の関心が高いのが特徴です。宮城教育大学教育復興支援センターを通じてボランティア要請があり次第、この登録学生に参加を呼びかけて対応しています。

今年度も、7月22日から8月25日まで、其々一週間程度、4回の要請がありました。7月23日は貴ロータリークラブの例会に参加させていただき、ご寄付をいただきましたが、これはボランティア学生が現地に行くための往復旅費（長距離バスを利用）の援助金として活用させていただきました。第一期は、前半が仙台市内の中学校、後半が南三陸町内の小学校でしたが、授業開講中にも拘らず、3人の女子学生が参加、第二期は希望者ゼロで参加せず、第三期の8月5日から11日は、仙台市の北50kmの大崎市の中学校での支援でしたが、これには17人（内女子学生14人）が参加、市内の3中学校で学習支援を中心に活動してきました。第四期は、南三陸町内の志津川中学校で8月19日から25日まで活動し、女子10人、男子5人の学生が参加しました。私も、期間中の20日には宮城教育大学を訪問し、学長と懇談、翌日志津川中学校を学長と共に訪問、校長先生と被災時の状況やその後の中学校の状況など様々な課題で懇談しました。その後学生たちの部活動の補助、学内清掃、学習支援の活動を見学し、学生の元気な様子を直接確認することができました。また長野県の指導主事先生（ボランティア）や民宿での学生との懇談も大変参考になりました。

今後も息の長い支援が続きます。被災地の子供たちの支援で学生自身が成長する、そういう支援をめざし継続的に取組みますので、引き続き貴ロータリークラブのご支援をお願いいたします。

